

## 第75回 日本農業教育学会大会のご案内

学会員各位におかれましては、ますますご清栄のことと拝察いたします。

さて、第75回日本農業教育学会大会を下記の次第にて開催することを案内いたします。一部未確定の部分もありますが確定次第、ホームページ上で案内いたします。

お忙しい中、万端ご都合をお繰り合わせの上、会員皆様のご参加・ご発表くださいますようお願いいたします。

**1. 期 日** 2017年10月8日(日)～10月9日(月・祝)

**2. 会 場** 静岡大学教育学部

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

**3. 事務局担当**

実行委員長・事務局

藤井道彦 静岡大学教育学部技術教育講座

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL & FAX : 054-238-4680

E-mail : [fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp](mailto:fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp)

**4. 日程**

10月8日(日)

11:00～12:00 編集委員会(教育学部B棟1階 B104技術科演習室)

12:00～13:00 評議員会(教育学部B棟1階 B109講義室)

13:00～14:00 公開特別講演(教育学部B棟1階 B110講義室)

14:15～17:10 公開シンポジウム(教育学部B棟1階 B110講義室)

17:30～20:00 懇親会(会場:生協グリル)

10月9日(月・祝日)

9:30～12:00 研究発表会(教育学部B棟1階 B110講義室)

13:00～14:00 総会(教育学部B棟1階 B110講義室)

14:00～16:45 研究発表会(教育学部B棟1階 B110講義室)

※発表件数により、時間や発表会場が変更になる場合があります。

両日とも大学食堂は昼食の営業をしていないため、昼食をご持参ください。「静大 片山」バス停近くにはコンビニがあります。

**5. 公開特別講演**

テーマ:世界の農業は安心・安全で持続可能な有機・自然農業へ

—この流れをわが国の農業教育の進展に生かすためには—

講演者:石井孝昭氏(徳山工業高等専門学校 研究員、ルワンダ国立大学 特別教授  
沖縄美ら島財団 研究顧問、合同会社アグアイッシュ 代表)

## 6. 公開シンポジウム

### 1) テーマ

[仮] しずおかの在来作物と生物育成に関する教育 ～現状と今後の展望～

### 2) 趣旨

2020年まで、国連が定めた「生物多様性の10年」の期間にあたります。生物多様性は人間の暮らしに直接的・間接的に大きな恵みをもたらし、在来作物の保全是遺伝子の多様性の保全につながります。しずおかには在来作物が数多く存在することがわかっており、近年、在来作物を学校教育で保全・活用する試みもみられます。

翻って、子どもの発達における体験学習の重要性が叫ばれるなか、小・中学校では栽培活動や食農教育が広く行なわれています。実施教科・領域としては生活科、「総合的な学習の時間」、特別活動のほか、2012（平成24）年度から中学校技術・家庭科技術分野で必修化された「生物育成」などがあり、それら生物育成に関する教育の効果が期待されています。

本シンポジウムでは、しずおかの在来作物の研究者、及び小・中学校で在来作物や生物育成に関する教育に熱心に取り組まれている教員に登壇して頂き、参加者が同教育の現状について学び、今後のあり方を考える機会とします。

【場所】教育学部B棟1階 B110講義室

日本農業教育学会長挨拶 土屋英男（京都教育大学） 14:15～14:20

大会実行委員長挨拶 藤井道彦（静岡大学） 14:20～14:25

### 第1部 講演 14:30～16:20

司会：藤井道彦

講演者：

1. 稲垣栄洋氏（静岡大学農学部教授）  
[仮] 静岡県の在来作物とその活用
2. 竹村久生氏（浜松市立天竜中学校教諭）  
[仮] 生物育成に関する教育 —浜松市の現状と竹村の実践について—
3. 菊野慎太郎氏（静岡市立井川小中学校教諭）  
[仮] 地域とともに！作って食べよう 地域の宝 在来作物

### 第2部 パネルディスカッション 16:30～17:10

コーディネーター：藤井道彦

パネリスト：稲垣栄洋氏、竹村久生氏、菊野慎太郎氏

## 7. 参加申込みについて

参加を希望する方は、次のA～Cのいずれかの方法で、**8月31日（木）**までに、＜参加申込み先＞宛てにお申込みください。できるだけAの方法をお願いします。

なお、参加費、懇親会費は、当日受付でお支払い下さい。

A：学会のWEB サイト (<http://agriedu.miyakyo-u.ac.jp>) より「参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、電子メールに添付して送付する。

B：以下の＜大会参加申込み＞の必要事項を、電子メール本文に記載して送付する。

C：別掲の「参加申込書」に記入のうえ、郵送かFAXで送付する。

＜大会参加申込み＞（参加希望者）

- (1) 氏名（フリガナ）
- (2) 所属
- (3) 区分（一般／学生）
- (4) 連絡先（住所，電話番号，FAX 番号，電子メールアドレス）
- (5) 公開特別講演とシンポジウムへの参加／不参加
- (6) 懇親会への参加／不参加（学生の方の参加の場合は「学生」と記載ください）
- (7) 研究発表会・総会への参加／不参加
- (8)（※評議員のみ）評議員会への出席／欠席（出席者の昼食は事務局で準備します）
- (9)（※編集委員のみ）編集委員会への出席／欠席

＜参加費（研究発表要旨集代を含む）＞

一般：3,000円 学生：1,000円

＜懇親会費＞

一般：4,000円 学生：3,000円

＜参加申込み先＞

藤井道彦 静岡大学教育学部技術教育講座  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
E-mail : [fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp](mailto:fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp)  
TEL & FAX : 054-238-4680

## 8. 研究発表申込みについて

希望する方は、次のA～Cのいずれかの方法で、**8月31日（木）**までに、＜研究発表申込み先＞宛てにお申し込みください。できるだけAの方法をお願いします。

注意：登壇者は学会員である必要があります。未入会者が登壇者となる場合は、至急、学会に入会してください。「入会申込書」は、次の学会WEBサイトからダウンロードできます (<http://agriedu.miyakyo-u.ac.jp>) 。

A：学会のWEB サイト (<http://agriedu.miyakyo-u.ac.jp>) より「研究発表申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、電子メールに添付して送付する。

B：以下の＜研究発表申込み＞の必要事項を、電子メール本文に記載して送付する。

C：別掲の「研究発表申込書」に記入のうえ、郵送かFAXで送付する。

<研究発表申込み> (発表希望者のみ)

- (1) 発表者氏名 (所属) ※発表者が複数の場合は登壇者氏名の左に○印
- (2) 登壇者の会員種別 正会員・学生会員/非会員
- (3) 題目
- (4) 連絡先 (氏名, 住所, 電話番号, FAX 番号, 電子メールアドレス)
- (5) 発表で使用するノートパソコン: 会場備え付けのものを使用する/持参する  
(どちらかを選んでください。会場備え付けのものを使用する場合は、発表用データをUSB フラッシュメモリに入れて持参してください。なお、会場備え付けパソコンのプレゼンテーションソフトは、Windows版 Microsoft PowerPoint 2013です。)
- (6) 発表方法: 会場備え付け液晶プロジェクターを使用する/その他  
(どちらかを選んでください。「その他」の場合は、お手数ですが下記<研究発表申込み先>まで連絡くださいますようお願いいたします。)

<研究発表申込み先>

藤井道彦 静岡大学教育学部技術教育講座  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
E-mail : [fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp](mailto:fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp)  
TEL & FAX : 054-238-4680

※「研究発表要旨原稿の送付先」は、この「研究発表申込み先」とは異なりますのでご注意ください。

## 9. 研究発表要旨原稿の様式および送付先について

### 【発表要旨原稿の様式】

要旨集は、発表者から送られてきた原稿をそのまま印刷・製本します。

要旨原稿の様式を統一しますので、発表される方は、学会のWEB サイトよりダウンロードして要旨原稿を作成してください。なおWEB サイトには様式の説明が赤字で書かれていますので、この様式にしたがってください。

※学会WEB サイトのURL <http://agriedu.miyakyo-u.ac.jp/>

### 【発表要旨原稿の送付先】

原稿は、可能な限り電子メールで下記宛にお送りください。

電子メールの件名(タイトル)は、【農業教育学会発表要旨(〇〇〇〇)】として、〇〇には発表者氏名をご記入ください。電子メールで送れない場合には郵送でも受け付けます。

締切りは電子メールの場合は**8月31日(木)**(必着)、郵送の場合は**8月28日(月)**(必着)です。

印刷の日程に余裕がありませんので、締切りを厳守してください。

農研機構(農業・食品産業技術総合研究機構)  
遺伝資源センター内 田中大介 宛

〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2

E-mail : [dtanaka@affrc.go.jp](mailto:dtanaka@affrc.go.jp)

TEL : 029-838-7016

※原稿を郵送される場合、事前に上記Eメールアドレスまでその旨をお伝えください。

## 10. 交通案内

アクセスマップ : <http://www.shizuoka.ac.jp/access/>

JR東海道線・東海道新幹線「静岡駅」から

(1)バスをご利用の場合：北口バスターミナル 8 B 番乗り場より路線バス

[http://www.justline.co.jp/noriba/noriba\\_shizuoka.html](http://www.justline.co.jp/noriba/noriba_shizuoka.html)

(所要時間約25分、290円。ICカード利用可能。)

(日曜祝日は、日中は1時間に約6本ありますが、8時台の本数は、8:11、8:29、8:45の3本と少なくなっておりますので、ご注意ください。

静岡駅前を午前中に出発するバスは「静岡大学」を経由します。)

(行き先により、下記の4通りがございます。)

<http://data.justline.co.jp/nanj/table.do?busstopcode=10010&dataType=3&polecode=8&pa>

[perNumber=6](#)

- ①美和大谷線「静岡大学」行き ⇒「静岡大学」または「静大片山」で下車。
- ②美和大谷線(静岡大学経由)「東大谷」行き ⇒同上
- ③美和大谷線(静岡大学経由)「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き ⇒ 同上
- ④美和大谷線(静岡大学を経由しないもの)「東大谷」行き ⇒「片山」で下車。

静岡駅よりも東静岡駅の方が静岡大学に近いのですが、日曜・祝日のバスの運行は、静岡駅(北口)からしかありませんので、ご注意ください。

(2)タクシーをご利用の場合：約20分 約2,000円。

(南口正面(新幹線改札口側)または北口西側のタクシー乗り場から)

## 11. 学内案内図

静岡大学静岡キャンパス学内案内図をご覧ください。

「静岡大学」バス停から大会会場まで、上り坂と階段があり、約10分強かかります。

[http://www.shizuoka.ac.jp/access/map\\_shizuoka.html](http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html)

## 12. 宿泊について

JR静岡駅周辺にホテルが複数あります。各自でお早めにご予約ください。

# 大会会場案内図

